

FY2020(2020年3月期)第3四半期決算説明会、および、以降のQ&A

- 第1回：2020年1月30日(Q1~9)
- 第2回：2020年2月7日(Q10~14)

- Q1 HD：通期予想の度重なる修正（特に今回、大幅な営業利益の下方修正）など、事業計画に対する考え方はどうなっているのか？
- A1 投資家、株主にご迷惑をお掛けすることになり、大変申し訳ない。今回はSPEにおける受注スライド、および、FTの売上時期の遅れほか、評価機の売上計上など、悪材料が出揃った。
- Q2 今後の全社の営業利益率の考え方？
- A2 来期スタートさせる新しい中期3カ年経営計画（詳細、現在精査中）では、SPEを中心に営業率2桁%以上を目指す（FTも2桁%以上水準想定）。
- Q3 SPE：説明会資料（プレゼン）のp24の営業利益分析に関して。採算性理由で75億円のうち、半分強が評価機を中心とする不採算案件処理と理解できたが、残り半分は何？これほど大きく（3カ月で）採算性が悪化することに違和感あり。原価割れの装置があるのでは？
- A3 10月末の2Q（第2四半期決算）時に見ていた彦根の新工場（S³）の稼働率が、当初想定60%程度から30%を切るレベルが実際の見通しとなったことによる。（その想定案件が来期にスライド）
- Q4 SPE：不採算案件とは複数顧客？一時的？ロジック系、メモリー系？
- A4 どのお客様かは回答できない。複数件あり。
- Q5 SPE：2Qで上方修正、3カ月後下方修正には厳しい見方あり。これは、問題の本質として、マネジメントの問題では？
- A5 ご指摘のとおり、管理能力を問われても仕方がない（と反省）。3Q受注想定はずれが想定以上に大きなインパクトがあった。
- Q6 SPE：3カ月前からマーケットの環境は改善しているのに、下方修正とはなぜ？
- A6 顧客都合であり、ご心配されているような失注や、受注案件が消えたというわけではない。
- Q7 SPE：営業利益率について。従前説明では、改善が進んでいるとのことだったが、前期から改善していないように見える。仮に今期の水準が続くなら、営業利益率10%以上という目標自体、少し高すぎるのでは？
- A7 評価機の売上計上がなければ、10%以上は達成しており、改善は進んでいる。
- Q8 SPE：来期、仮に売上がフラットなら、どれぐらいの収益改善見込む？
- A8 現状、2桁%台の営業利益率は確保できよう。
- Q9 FT：来期に向けては安心してよいか？中国、輸出関連、どのような見方？
- A9 来期に向け、プラスに動く（スライド案件の売上ほか）と見ている。現状、米中貿易摩擦の影響は、直接は出ていない。但し、資金調達が難しくなっている様子にて、その影響を受けることはあるかもしれない。

- Q10 HD：今期（2020年3月期）の税率は前期比で下がるように見えるが、どれくらい？
また、減少する背景は？
- A10 想定税率は30%弱。減額の理由は、今期からの連結納税の適用により、弊社が保有する繰越欠損金の活用、および、国内グループ会社の損益通算のため。
- Q11 SPE：彦根工場全体（S³および旧工場、全体）の稼働率は？
- A11 月によって増減するが、4Qでは60%~70%程度と見ている。
- Q12 SPE：3Qの受注は453億円と想定より減少したが、4Qの受注水準予想は？
- A12 現状、500~550億円程度を見込む。
- Q13 SPE：CY2020のWFEの見方について。プレゼン資料（p.10）では、CY2019比+5%を想定されているが、アプリケーション別の内訳イメージは？
- A13 増加するのは、回復の兆しが見られるメモリーだと見ている（ファウンドリー、ロジック、画像素子などは、CY2019も堅調だった）。
- Q14 FT：3Qの受注は115億円と好調だったが、4Qの受注水準予想は？中味は？
- A14 現状、2桁億円半ば程度（3Q水準の1/2以下）、OLED中心を見込む。

〔備考〕

HD: ホールディングス、SPE: 半導体製造装置事業、GA: グラフィックアーツ機器事業、
FT: ディ스플레이製造装置および成膜装置事業、PE: プリント基板関連機器事業